



所蔵作品展

万感の冬

会期：2014年11月15日（土）～2015年2月15日（日）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日が休館）、
および12月28日（日）～1月5日（月）

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）



関口雄揮記念美術館

万感の冬

表の作品：《北の牧場》1998 年

※ 学芸員によるギャラリートツアー 随時受付

凍てつくような冷氣、重くのしかかる雲、一夜にして全てを覆い尽くしてしまう雪。一年の三分の一を占める北海道の冬は、私たちの生活を制限し、過酷な労苦を強い、時に生命さえ脅かします。しかし同時に、そうした冬にあっても、雪によって風景が美しい粧いを得ることを、厳しさの中に置かれるからこそ生命が強く輝く瞬間があることを、そして身も凍る寒さを経るからこそ春を待つ希望がひととき高まるのだということを、私たちは知っているはずです。

本展は関口の作品を通じて、好悪が交錯する冬への感情を再考する試みです。厳しくも美しい冬の風景を眺めながら、湧き上がってくる様々な心の声に耳を傾けてみてください。



《冬の華》2002 年



《霧氷の川》2007 年

◎第2展示室 北海道の四季

北海道の風景スケッチを紹介します。日本画の作品ではあまり見ることのできない季節の風景が、スケッチでは数多く描かれています。それは関口が、冬こそが北海道を描くに相応しい季節であると考えていながらも、他の季節の美しさも見逃していなかった証拠と言えるでしょう。北海道の自然を彩る、四季折々の風景をご覧ください。



スケッチ 帯広 1985 年

◎第3展示室

関口の代表的作である永観堂禅林寺の障壁画のひとつ、釈迦堂襖絵《二河白道図》の右下図を紹介し、関口は浄土教絵画の画題として長い歴史をもつ「二河白道図」を現代風に解釈し、自然への畏怖を込めて襖絵を描きました。その下図からも、超越的な力を持った自然の胎動と、それに対する人間の無力さが伝わってくるようです。



《渦潮》 2003 年



《炎》 2003 年

◎お知らせ

●2015 年版カレンダーについて

11 月 15 日（土）より、2015 年版のカレンダー（前・後期）の配布を開始いたします。

※ 無料配布は美術館またはカフェご利用のお客様のみ。他は 1 点 100 円での販売

●年末年始の営業について

2014 年 12 月 28 日（日）～2015 年 1 月 5 日（月）は、休館とさせていただきます。年始は 1 月 6 日（火）から通常営業いたします。

◎Cafe ボザール

館内併設のカフェ。明るく開放的な空間で、周囲の景色を楽しみながらご休憩いただけます。カフェのみでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

Menu

コーヒー	¥500
ココア	¥600
抹茶	¥600
フルーツハーブティー	¥450
レモンスコーン	¥250
抹茶シフォンケーキ	¥400
アイス 3 種盛り	¥500
他	



◎ご利用案内

入場料金

	大人	大学 専門学校生	中高生	小学生	幼児
通常	¥800	¥600	¥400	¥200	無料
リピーター ※1	¥600	¥400	¥200	¥100	無料
芸森 ※2 / 団体 ※3	¥700	¥500	¥300	¥100	無料

※1 当館入場券の半券をお持ちの方 ※2 札幌芸術の森美術館の観覧券をお持ちの方
※3 15 名様以上の団体

敬老優待（要敬老手帳）¥600 障害者優待（要障害者手帳）通常料金の半額 前売り券 ¥600

アクセス

◎地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス 2 番乗り場より
中央バス乗車（約 14 分）「芸術の森入口」下車
真駒内方面へ徒歩 1 分

◎お車をご利用のお客様

札幌市街中心部より国道 453 号線を南下
支笏湖方面へ（約 40 分）
専用駐車場あり



関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤 3 条 1 丁目（芸術の森入口）
TEL 011-593-5050 <http://www.sekiguchi-muse.jp/>